

フレやまぐち!



山口サッカーの象徴

レノファ山口FC



山口県においてサッカー人気の火付け役となったのがレノファ山口。今や県民なら知らない人はいないほど有名なチームになりました。

1949年に山口県教員団として発足、2006年に公募により正式に名称を「レノファ山口FC」に変更し、Jリーグ参入を目指しました。2013年に念願のJFL入会が決定。その後は2014年JFL初年度は4位でJ3に入会、2015年はJ3優勝しJ2へ昇格とそれぞれ1年で上部リーグへと昇格しました。現在まで一度も降格することなくJ2リーグ5年目のシーズンを迎えました。

今年は「GO CRAZY 昇格へ狂いたまえ」をスローガンに、クラブ、サポーターが一丸となってJ1昇格を目指して突き進んでいます! いよいよガイドラインに沿った有観客試合がスタートし始めることで、ますます盛り上がりを見せています。みんなでレノファを応援しましょう!



知っ得ポイント

「ヤマグチ一番」で盛り上がろう!

レノファ山口が勝った試合後、選手、サポーターみんなで「ヤマグチ一番」を一緒に歌って勝利を喜びます。元歌は月亭方正さんの「ヤマザキー一番」です。

チームデータ

- ホームタウン: 山口県全州市
- ホームスタジアム: 維新みらいふスタジアム
- クラブカラー: オレンジ
- 創設: 2006年(1949年:クラブ発足)
- 所属: J2リーグ
- 監督: 霜田正浩
- 公式サイト: <https://www.renofa.com/>

文豪山口

今なお多くのファンを持つ
近代叙情詩人

中原中也



「汚れつちまつた悲しみに」でおなじみの中原中也は明治40年4月29日に湯田温泉の開業医の長男として生まれました。若くして文学に目覚め、15歳で友人との共同歌集「末黒野」を出します。大正14年に上京し、小林秀雄、永井龍男、大岡昇平らと交遊し、昭和9年に第一詩集「山羊の歌」を自費出版しました。翻訳家としても優秀で、ランボオの翻訳本「ランボオ詩集」を刊行。この本は萩原朔太郎も高く評価していました。そんな中也ですが、結婚後、長男文也を2歳で失ってから心身が衰弱し、昭和12年わずか30歳で急逝しました。死の直前までまとめていた第二詩集「在り日の歌」は友人の小林秀雄に託されて翌年に出版されました。波乱に満ちた生涯を詩人として生き抜いた中也の詩は、日本だけでなく海外でも多くの人に愛されています。

写真提供: 中原中也記念館



中原中也記念館
山口県山口市湯田温泉1-11-21
TEL083-932-6430
FAX083-932-6431

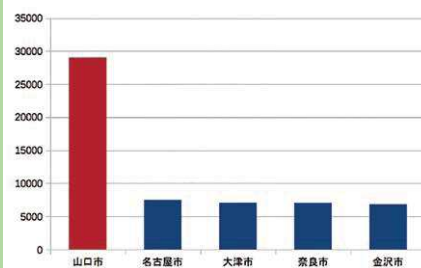
雑学ヤマグチ

山口市は
日本で一番
チョコレート好き



チョコレートが日本一大好きな都市は山口市でした。2018年に実施された総務省統計局の家計調査年報を元に都道府県庁所在地別の世帯あたりの購入金額を割り出すと、山口市が29,026円で2位の名古屋市に4倍近い差をつけてダントツの1位でした。山口市は毎年トップ10に入っていることが多く、チョコレートが好きな人が多いことに間違いはなさそうです。

2018年
チョコレート支出金額トップ5



データ参照
ガページニュース
<http://www.garbagenews.net/archives/2354660.html>